

令和5年度 事業報告書

I ものづくり産業の経営力強化と外商の促進

1 企業ハンズオン支援事業（窓口相談・企業訪問・新事業創出支援事業）

（1）窓口相談・企業訪問事業

県内中小企業者の経営強化に資するため、相談対応や企業訪問を通して支援ニーズの把握に努め、支援施策等に関する情報提供や経営全般へのアドバイスによる支援を行った。

ア) 中小企業者等の抱える経営課題解決への支援

センター職員が窓口での相談対応や企業訪問を行い、事業や経営についての課題を把握し、センター事業をはじめ国や県の支援策の紹介、関係機関への橋渡しを行うなど、企業の課題解決を支援した。

【業種別相談件数】

業種	企業数	件数
製造業	1,124	1,937
卸売業	126	235
建設業	94	152
小売業	51	67
サービス業	89	122
その他	44	53
計	1,528	2,566

イ) 補助金活用企業への支援

事業戦略・経営革新計画等の実現に向けて経営の強化に取り組む、こうち産業振興基金等補助金活用企業を対象に、企業訪問等によって課題を把握し、課題に対する助言や取り組みへの支援を図った。

ウ) 地域プラットフォームによる支援

平成25年に地域の支援機関による中小企業支援を目的として設立した地域プラットフォームの構成支援機関間の連携強化と情報共有を行うため地域支援機関連携フォーラムを実施した。

構成支援機関：高知県商工会連合会、高知商工会議所、高知県中小企業団体中央会、四国銀行、高知銀行、幡多信金ほか7機関

（2）新事業創出支援事業

国の成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech事業）等、研究事業の相談対応、進捗管理、フォローアップ及び事業に係る借受機器管理を行った。

2 よろず支援拠点運営事業

国が行う「中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業」を活用し、地域の各支援機関と連携しながら県内事業者が抱える売上拡大や資金繰り等の多様な悩みに対してワンストップで相談対応を行い、経営課題の解決に向けて支援を行った。

また、令和5年7月には県内事業所数の約5割が集中する市内の事業者の掘り起こしにむけて高知市役所内にサテライトを開設したとともに、以前から相談ニーズの高かった須崎商工会議所にもサテライトを開設。県内10カ所のサテライト拠点での相談対応や出張相談会の開催による遠

方事業者の利便性の向上を図ったほか、年々相談ニーズが高まっているSNSを活用した情報発信やインボイス等に関する少人数セミナーを開催し、課題解決の促進に向けて取り組んだ。

○相談対応件数 4,388件

業種別		相談内容別		
1	サービス業	1,120件	IT活用(情報発信)	1,286件
2	製造業	876件	経営知識	696件
3	宿泊・飲食業	723件	IT活用(内部管理)	345件

○サテライト相談会 62回

○出張相談会 119回

○少人数セミナー 82回

【主な支援事例】

企 業 名	所在地	内 容
飲食業 (ラーメン店)	須崎市	■ラーメン専門店のSNS活用支援 売上を向上させるためにSNSの更なる活用を考える事業者に対し、Twitter、Instagramともにプロアカウントへの切り替え、プロフィールページの設計、イシサイト機能の活用、効果的な投稿方法などを支援。その効果で店舗前に行列ができる日も増え、売上も増加傾向に転じた。
生活関連サービス業 (結婚式場)	高知市	■資金繰りとITを活用したウェディング事業の立て直し 資金確保が大きな課題であった事業者に対し、最適な融資制度の提案や実現性の高い事業計画書、資金繰り表の作成支援を行い、資金確保のめどがついた。
飲食業 (居酒屋)	四万十市	■飲食店の利益アップ手法 原料価格高騰による利益減少に悩む事業者に対し、客単価をアップするための接客手法をアドバイス。高単価品を注文してもらうため観光客や家族連れなど客層に合わせた適切な商品提案などを実践していくことで、1人あたり客単価もアップし、売上も向上した。

3 事業戦略策定・実行支援事業

「事業戦略」の策定・磨き上げと、事業戦略策定企業が自社でP D C Aを回せる体制づくりを支援するとともに、生産性向上(省力化・高付加価値化)等の取り組みを推進した。特にコロナ禍やエネルギー・資材価格の高騰等により業績が悪化している企業に対して、外部環境の変化に対応するための計画の再策定を支援するとともに、金融機関等の関係機関との連携や、デジタル化・グリーン化・グローバル化等の施策と連携した取組を推進した。

併せてココカラ等と連携した課題解決型のセミナー等を開催した。

また、事業戦略実行支援の中で、全国に通用する製品づくりを目指した製品開発の企画段階から販路拡大までを盛り込んだ「製品企画書」の作成をサポートした。

○事業戦略の策定・磨き上げ

- ・事業戦略支援会議の開催
- ・セグメント別セミナー 2回 (参加者約63名)

- ・PDCA 伴走支援 58 社
 - ・戦略の再策定 8 社
- 事業化プラン（製品企画書）作成
- ・完成 32 件

4 ものづくり地産地消促進事業

県内での機械製造や一次産品等を活用した商品開発、マッチング等の「ものづくり」に関する様々な相談への対応や、県内製品、技術を紹介する「ものメッセ KOCHI（ものづくり総合技術展）」の開催などを通じて、県内での「ものづくり」の連携の重要性への理解を高め、ものづくり産業の底上げにつなげた。

（1）マッチング支援事業

県内で必要とされる機械設備の製造や食品加工など、付加価値を生み出す「ものづくり」の工程をできる限り県内で行う「ものづくりの地産地消」を進めるため、様々な相談にワンストップで対応するとともに、一次産業の省力化やその他産業の生産性の向上につなげていけるよう県や関係機関と連携し、「ものづくり」に関する機械化ニーズなど県内企業の受注等につながる案件についてマッチング支援を行った。

○マッチング支援件数：43 件

（2）ものづくり総合技術展委託事業

県内企業の優れた製品や技術を広く県内外にアピールし、企業同士のマッチング機会の創出や県外・海外企業との商談機会の増加を図るとともに、高知県の将来を担う県内の若者の来場を促進し、県内企業を知ってもらい県内就職につなげていくことを目的に「ものメッセ KOCHI（ものづくり総合技術展）」を開催した。

- ・開催日：令和 5 年 11 月 9 日（木）～11 日（土）
- ・会場：高知ぢばさんセンター（高知市布師田 3992-2）
- ・出展者数：113 事業者
- ・来場者数：23,500 人（うち学生数：2,736 人）
- ・県外招聘企業：146 社
- ・商談件数：917 件

5 ものづくり外商促進事業

県内企業のものづくりや販路開拓に関するサポート活動を行うため、企業ごとに専任担当者を配置し、ニーズに応じた情報提供や提案を行うとともに、見本市への出展や商談会の開催により、県外や海外への企業の販路拡大と外商を支援し、第 4 期高知県産業振興計画 ver. 4 の戦略目標を超える 117.1 億円（目標 116 億円）の成果額を達成。

（1）見本市出展事業

首都圏や関西圏で開催される大規模な見本市のほか、防災分野や一次産業機械分野、水産加工分野など専門性の高い見本市に高知県ブースを設置し、県内企業の出展・商談サポートや販路開拓・拡大支援を行った。

- ・出展見本市： 20 見本市 105 小間
- ・出展企業数（延べ）：106 社
- ・商談件数：2,573 件

また、県関西戦略と連携し、R7年開催予定の「大阪・関西万博」をターゲットとして開催された未来モノづくり国際EXPO、大阪・関西万博開催支援EXPOへの初出展をはじめ、継続して出展している6見本市に出展し、販路拡大に努めた。

(2) 技術の外商商談会開催事業

県内企業の技術の外商として、関西や中国、九州地方を中心に県外発注企業の開拓や発注案件の情報収集を行うとともに、四国合同商談会（R5年度は高知県が幹事県）の開催や、関西四国合同広域商談会（京都府が幹事県）を共催し、県内企業の参加を促した。

また、県単独商談会として「高知県技術の外商取引拡大商談会」や、発注企業を招いて県内企業の加工技術のデモや工場視察を行う「工場視察商談会」の開催を通じて受発注企業とのマッチングを支援した。（商談件数287件、成約金額10.2億円）

ア) 合同広域商談会： 2回

①四国モノづくり合同商談会 2023 in KOCHI（開催地：高知市）

・参加発注企業数	38社	・参加受注企業数	24社
・商談件数	52件	・成約件数	4件

②関西四国合同広域商談会（開催地：京都市）

・参加発注企業数	146社	・参加受注企業数	7社
・商談件数	18件	・成約件数	1件

イ) 高知県単独商談会

③技術の外商取引拡大商談会（1回）

・参加発注企業数	19社	・参加受注企業数	42社
・商談件数	161件	・成約件数	4件

④工場視察商談会（12回）

・参加発注企業数	12社	・参加受注企業数	56社（延べ）
・商談件数	56件	・成約件数	6件

⑤個別斡旋：取引斡旋数 78件 成約 42件 成約額 97,156千円

(3) 海外展開支援事業

県内企業の海外での販路開拓を支援するため、新たに当センター内に「ものづくり海外展開サポートデスク」を設置するとともに、タイ・ベトナムに「現地サポートデスク」を設置し、相談対応や海外展開に向けた戦略づくり、海外での展示会・商談会の出展サポート、海外バイヤーを招聘した商談、海外同行支援などの各種支援を実施した。

また、新たに「ものづくり海外戦略アドバイザー」を配置し、海外展開に取り組む企業の掘り起こしを行うとともに、海外戦略支援会議を開催し、支援機関との情報共有を図り、伴走支援に努めた。

ア) 展示会、商談会への出展

- ①5月：タイ SUBCON THAILAND（3社）
- ②8月：ベトナム FBC アセアンものづくり商談会（3社）
- ③11月：タイ METALEX（3社）
- ④1月：フランス MAISON&OBJET（4社）

イ) 海外同行支援

3社6件（ベトナム、タイ、フランス）

ウ) 「ものメッセ KOCHI」への招へいによる来高機会の創出（4社100商談）

(4) 東京営業本部・大阪営業本部

東京営業本部、大阪営業本部に配置している外商コーディネーターが、大都市圏を中心とした自治体、企業、団体に県内製品の提案を行い、新たな商談先の開拓や商談への同行、見本市等のフォロー活動を行うとともに、外商活動で得た情報を県内企業にタイマリーに情報提供を行った。

ア) 見本市等

見本市後のフォローを徹底的に行い、見本市を新たな商談先の確保へつなげた。また、見本市の結果、成約の可能性の高いバイヤーを招いたミニ展示商談会や成約の可能性を高めるために本県へバイヤー等を招く視察商談会を開催し、成約・販路拡大を図った。

①見本市の現地サポート 東京営業本部8回、大阪営業本部9回

②ミニ展示商談会の開催

・東京営業本部 4回(出展企業数延べ23、来場社数159、商談数425、見積依頼数124)

・大阪営業本部 5回(出展企業数延べ44、来場社数138、商談数550、見積依頼数222)

③現地視察商談会

・東京営業本部 5回(県内企業21社と商談、見積提出数15、商談成約数5)

・大阪営業本部 4回(県内企業22社と商談、見積提出数12、商談成約数2)

その他 技術の外商視察商談会 8回

イ) 新たな商談先の開拓

県内企業の「商談や成約」に結び付けるため、外商コーディネーターが県内事業者と連携して、自らが積極的な商談先の開拓を行うとともに、同行訪問、商談への同席など、成約に向けたサポートを行った。

また、防災フェアや防災訓練への出展を通じて、製品の周知を図った。

・新たな商談先開拓件数 東京営業本部 483件、大阪営業本部 1,116件

・同行による商談同席件数 東京営業本部 552件、大阪営業本部 580件

ウ) 防災製品の販路開拓

自治体や大学、民間企業・団体を訪問し、防災備蓄品等の調達情報を収集するとともに、県内防災製品の採用に向けた提案を行った。

また、自治体に入札権を持つ大手防災商社や地元有力防災商社との情報共有を進め、カタログ掲載や最近の防災備蓄に関するトレンドを踏まえた営業活動を行うとともに防災フェア等への出展を通じて、防災製品の周知を図った。

・国、自治体への訪問 P R 東京営業本部 809回、大阪営業本部 541回

・大手防災商社等への訪問 東京営業本部 1,206回、大阪営業本部 1,346回

・防災フェア等への出展 東京営業本部 4回、大阪営業本部 4回

6 こうち産業振興基金等事業（事業戦略等推進事業）

「事業戦略」や「経営革新計画」、「経営計画」の承認を受けた中小企業者等が新分野進出・新商品開発・販路開拓等により事業戦略等の実現化を図る取り組みについて、補助金（補助率1/2以内、補助上限額200万円(製品企画書に基づく商品開発を行う場合は、開発事業1,000万円、その他事業200万円の最大1,200万円)）を交付するとともに、そのフォローアップを行った。

また、今年度より申請方法を国内事業等申請枠と海外事業申請枠に分け、海外事業申請枠につ

いては毎月募集とし、よりタイムリーな支援を行うとともに、海外販路開拓事業（グローバル枠）については、別枠（上限 200 万円）での支援を行った。

- ・交付決定 89 件

【主な支援事例】

企 業 名	所在地	内 容	備 考
化粧品製造業	高知市	男性用段ボールトイレを試作するとともに、特許出願を行い、新たな製品開発や販路開拓につながった。	国内事業等申請枠
紙製品製造業	土佐市	フランス・パリで開催された「メゾン・エ・オブジェ」に継続出展し、前回接点ができたバイヤーと詰めの商談を行い成約となった。	海外事業申請枠

7 新事業チャレンジ支援事業

新型コロナウイルス感染拡大や原油価格・物価高騰等による影響を受けた事業者に対し、設備投資を伴う新たなチャレンジに必要な経費の一部を補助することで、業績回復やアフターコロナを見据えて実施する「新製品の開発」や「新サービスの提供」、「新市場への進出」を支援した。

また、昨年度に引き続き、新たなチャレンジと一体的に賃上げを行う事業者を支援するため、補助率及び補助上限額の引き上げを行った。

＜再構築枠＞ 交付決定 50 件（うち賃上げ 28 件）

補助上限額：3,000 万円（賃上げを行う場合：3,500 万円）

中小企業者等：補助対象経費の 2/3 以内（賃上げを行う場合：3/4 以内）

中堅企業：補助対象経費の 1/2 以内（賃上げを行う場合：2/3 以内）

＜一般枠＞ 交付決定 36 件（うち賃上げ 23 件）

補助上限額：1,500 万円（賃上げを行う場合：2,000 万円）

補助対象経費の 1/2 以内（賃上げを行う場合：2/3 以内）

【主な支援事例】

企業名	所在地	内容	備 考
介護事業	南国市	スーパー店舗内に「高齢者向けデイサービス事業所」を設置。「買い物訓練」を通じ、身体機能の向上、買い物ニーズにも対応する新サービスを展開	一般枠 (賃上げ)
生活関連サービス業（結婚式場）	高知市	貸衣装業者の事業を継承（「婚礼貸衣裳」の営業資産、既存顧客、営業ノウハウ等）し、社内の事業再編を行い、婚礼貸衣装部門の内製化を実現	再構築枠 (賃上げ)
菓子製造業	高知市	菓子の大袋ニーズに対応するため、新工場に大袋の製造ラインを増設し、自動化による生産を開始	一般枠 (賃上げ)

8 原油高騰緊急対策設備投資支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響の長期化に加え、原油価格・物価高騰等により経済的な影響を受けた製造業を営む県内中小企業者における省エネルギーの推進及び生産性の向上を目的とした設備の更新を支援した。

交付決定：29件

補助上限：750万円

補助率：補助対象経費の1／2

【主な支援事例】

企業名	所在地	内容
機械製造業	南国市	フォークリフトの交換（ガソリン式⇒電気式）を行いランニングコスト（燃料費）を大幅削減
はん用機械器具製造業	南国市	キュービクル（受変電設備）を交換し、電気料金の大幅削減、省スペース化を実現

9 省エネルギー設備投資支援事業

原油価格・物価高騰等により経済的な影響を受けた製造業を営む県内中小企業者における省エネルギーの推進を目的とした設備投資を支援した。

交付決定：98件

補助上限：300万円

補助率：補助対象経費の2／3以内

【主な支援事例】

企業名	所在地	内容
農業用機械製造業	須崎市	照明をLED等の高効率のものに交換することによって、大幅な消費電力削減が見込まれ、工場内も明るくなり安全性や雰囲気も向上。
水産物卸売業	高知市	旧型の冷凍設備で大きな電力がかかっていたものを、新型に更新し、サイズも適正なものに見直すことで、消費電力の大幅削減、省スペース化を実現。

10 戦略的基盤技術高度化支援事業

高度な技術開発、新製品開発事業に取り組む中小企業者の支援として、経済産業省の成長型中小企業等研究開発支援事業「Go-Tech事業」（旧サポイン事業）の活用を図り、事業管理機関として同事業の支援を行った。

テーマ	事業期間	研究実施機関
自動車の高度自動運転化に寄与する新規フレキシブル形状ミリ波吸収体の開発	令和3年度～令和5年度	廣瀬製紙(株) (一財)ファインセラミックスセンター 高知県立紙産業技術センター

11 くろしお博覧会記念基金事業

くろしお博覧会記念基金の果実を財源として、県内で作り出された優秀な地場産品や地域産業に貢献のあった活動を「高知県地場産業大賞」として顕彰することにより、高知県経済の活性化を図った。61件の応募があり、17件を表彰した。

- ・高知県地場産業大賞 (1点) 賞金 50万円
- ・高知県産業振興計画賞 (1点) 賞金 20万円

- ・高知県地場産業賞 (3点) 賞金10万円
- ・高知県地場産業奨励賞 (10点)
- ・高知県地場産業次世代賞 (2点)

【受賞者等一覧】

区分	受賞者	所在地	製品・活動名
高知県 地場産業 大賞	YAMAKIN 株式会社	香南市	地域の歯科技工士がつくる デジタルコピーデンチャー
高知県 産業振興 計画賞	河野製紙株式会社	高知市	新保湿ティッシュ絹雲3枚重ね
高知県 地場産業賞	株式会社飯田鉄工	高知市	エコカッターシリーズ
	井上ワイナリー株式会社	香南市	山北みかんワイン
	一般社団法人こうち絆ファーム	安芸市	地域共生社会を実現し 「生きづらさ」に起因する課題を解決する。
高知県 地場産業 奨励賞	株式会社アースエイド	須崎市	かつおに合う葉にんにくぬた
	株式会社オガサ製工	高知市	減災遮熱ルーフ「ガルパワー®」
	合同会社風	土佐町	「とさちょうものがたり」を起点に ～地域と共に地域を耕す～
	株式会社高知丸高	高知市	橋脚の周りを仮締切構築する仮締切工法
	四国情報管理センター株式会社	高知市	AI 放馬自動検知システム
	集落活動センター四万川	梼原町	地域住民の暮らしを守るために
	須崎市海のまちプロジェクト 推進協議会	須崎市	須崎市海のまちプロジェクト
	司牡丹酒造株式会社 BAR Craps	佐川町 高知市	司牡丹 マキノジン
	有限会社戸田商行	土佐市	地域で眠る未利用材を活用した 文旦エッセンシャルオイル
	有限会社藤川工務店	本山町	移住支援・住宅整備で 雇用と住居を提供して人口を倍増！

高知県 地場産業 次世代賞	高知市立高知商業高等学校 高知県立幡多農業高等学校	高知市 四万十市	陸の豊かさを守りつづける ～ジビエ部の挑戦～ まるごといかそう 幡多 no 食材 ～大切にしたいひと・もの・こと～
---------------------	------------------------------	-------------	--

II 人材育成支援や情報化の推進

1 人材育成・情報提供事業

(1) 経営セミナー等の開催

地産地消・外商の取り組みを促進するため、職場環境改善や人材育成、インターネットの効果的な活用手法等について、経営者や従業員を対象とした各種の専門的知識やノウハウを習得できる研修の機会を提供した。

- ・経営革新セミナー 全3回開催 延べ104名参加
- ・情報化支援セミナー 全16回開催 延べ291名参加

(2) 情報の提供（賛助会員事業）

中小企業の経営課題解決や情報化の支援を行うために、賛助会員制度を設けるとともに、各種支援施策や取引のための企業情報の提供、情報活用に関する専門家の派遣を実施した。

ア) 情報誌「情報プラットフォーム」の発行

各種施策や取り組み等の情報提供を図り、県内事業者の経営に資する情報提供を実施した。

- ・発行部数 1,500部/月

イ) DVD の無料貸出

各種のニーズに沿ったDVDを整備し、その広報に努め、働き方や経営効率化等の社会的要請はじめ、社員の技術やマナー教育など県内事業者の経営力向上を図った。

- ・貸出数 118本

ウ) メールマガジンによる情報発信

登録事業者の拡大に努めるとともに各種の施策やイベントの開催情報等、タイムリーな情報提供を行った。

- ・メールマガジンの登録者 701人
- ・情報発信 25回

エ) 企業検索情報の提供

事業者の販路開拓等の取り組みを支援するため、各種企業情報の提供を行った。

- ・企業検索数 68件

オ) ホームページによる施策・イベント等の情報発信

タイムリーで有用な情報提供に努めるとともに、利用者が活用しやすいホームページの構築を図った。

カ) I T 110番

事業者の情報活用の取り組みに際し、その疑問点や課題等の様々な相談に対応するための専門家を配置し、意欲的な取り組みへの支援を行った。

- ・相談対応件数 50件

2 中小企業デジタル化の推進

(1) 中小企業デジタル化促進事業

県内中小企業者等のデジタル化の取組を促進するため、デジタル化相談窓口で相談対応を行うとともに、企業訪問による支援ニーズの掘り起こしとデジタル化計画策定に向けた伴走支援により、経営課題である生産性の向上、品質向上などの課題解決を支援した。

【業務内容】

ア) 相談受付 105 件

- ・中小企業等からのデジタル化に関する相談受付と補助制度や支援機関の案内を行った。

イ) 企業の掘り起こし 164 社

- ・事業戦略策定企業を中心に個別訪問を実施
- ・金融機関や経営指導員等からの情報を基に意欲のある企業を訪問しヒアリングを実施

ウ) 事業戦略や経営計画など経営計画に沿ったデジタル化への伴走支援 57 社

- ・当センターや商工会議所・商工会などの各支援機関が実施する中小企業への経営支援に対してデジタル技術活用の観点から支援を実施（現状・課題の分析、活用するデジタル技術のアドバイスなど）

エ) 県内 IT 企業とのマッチング支援<デジタルの地産地消>

- ・県内 IT 企業から提案を募り評価・マッチングできるプラットフォームを運営

登録 IT 企業数 27 社 マッチング件数 29 件

(2) デジタル技術活用促進事業

電力・ガス・食料品等の価格高騰によって実質的な賃金が減少している中、給与等の増額を行う県内中小企業者等のデジタル技術への投資を通じた生産性を向上させる取り組みに対して経費の一部を助成した。

なお、第5回募集分（令和5年8月交付決定）より、一般枠について申請額150万円未満の小規模投資を支援するため、下限額の引き下げや添付資料の一部省略等の要件緩和を行った。

<一般枠>

交付決定：158 件、272,807 千円

補助上限：450 万円、下限：5 万円、補助率：1 / 2 以内

<デジタル化加速枠>

交付決定：3 件、24,540 千円

補助上限：1,000 万円、下限：100 万円、補助率：2 / 3 以内

【主な支援事例】

企業名	所在地	内容	備考
食品製造業 (菓子製造)	高知市	受発注業務を EDI システムに切り替えて省人化し、事務員を配置替えして営業体制を強化	一般枠
製造業	香南市	VR（仮想現実）を活用した溶接トレーニン	一般枠

(はん用機械器具製造業)		グシステム導入により、熟練技術者の指導時間短縮やトレーニングに要する材料費を削減	
学習支援業 (水族館)	高知市	SNS フォロワーをリアルな来館に繋げるため、人気スタッフやキャラクターの配置状況や水槽のライブ映像等のリアルタイム情報を提供する新たなサービスを実施。併せて水槽管理の自動化にも対応。	デジタル化加速枠

(3) R5補正デジタル技術活用促進事業

～電力・ガス・食料品等の価格高騰によって実質的な賃金が減少している中、給与等の増額を行う県内中小企業者等のデジタル技術への投資を通じた生産性を向上させる取り組みに対して交付決定した。

<一般枠>

交付決定：48件、83,524千円、補助率：1/2以内

補助上限：450万円、下限：5万円

<デジタル化加速枠>

交付決定：4件、26,123千円

補助上限：1,000万円、下限：100万円、補助率：2/3以内

III 地場産業振興センターの活用

1 会館事業

県内最大のコンベンション施設である地場産業振興センター（通称：高知ぢばさんセンター）の大ホールを経済効果の大きいイベントの場として貸し出すとともに、研修室や商談室等を事業者や各種団体が行う研修や商談の場として提供の他、地域経済の活性化に貢献する団体等へ事務室として貸し出しを行った。

また、大ホール排煙窓については、高知県及び高知市の令和6年度当初予算における補助金の予算措置が見送られたことから、緊急に現状調査を行い緊急応急修繕としてバッテリー交換工事を実施した。

【貸出等の実績】

(単位：千円)

区分	件数	貸出収入	備考
ぢばさんセンター貸出	937	45,642	
大ホール	42	17,131	貸出日数68日
研究室等	799	21,058	
駐車場	96	7,453	
事務所等賃貸		5,576	
雑収入		1,770	自販機設置手数料
計		52,988	

【ちばさんセンター貸出の近年の実績】

(単位：千円)

区分	2年度	3年度	4年度	5年度
大ホール	収入	9,106	7,482	22,034
	稼働日数	34	27	73
	利用人数	9,180	27,025	39,784
研修室等	収入	14,308	13,917	17,564
	稼働日数	743	423	804
	利用人数	15,217	8,474	18,480
駐車場	収入	4,510	3,921	6,453
	稼働日数	79	65	107
収入計		27,924	25,320	46,051
				45,642

IV その他**1 管理運営費****(1) 支援体制整備事業、維持管理事業等**

中小企業等の活性化を支援するためプロパー職員等を配置し、県内中小企業の中核的支援機関の職員として必要な知識や技能を取得するため、関係団体が開催する専門研修等を受講するなど、職員の能力開発を通じて支援活動のレベルアップを図った。

また、センターの運営が円滑に進むよう各種機器の調達・保守や公用車の維持などセンターの維持管理を行った。

【受講研修一覧】

研修期間	研修内容	参加者
5月17日～18日	初級管理者研修	1名
7月11日～13日	ロジカルシンキングで行う伴走支援手法	1名
7月11日～14日	初任者研修	2名
7月25日～26日	中堅研修	2名
8月21日、28日	効果的な展示会・商談会支援の進め方（WEB）	1名
8月24日	職場のリーダーに求められる統率力の向上	1名
9月8日、15日	WEBマーケティング支援の進め方（WEB）	1名
9月14日～15日	債権管理研修	1名
10月12日～13日	課長研修	2名
11月7日～9日	DX支援力強化研修Bコース	1名
11月15日～17日	中小企業・小規模事業者のDXスタート支援	2名
12月6日、13日	DXを活用した生産性向上支援の進め方（WEB）	2名
計		17名

(2) 管理費（こうち産業振興基金事業）

各種事業を円滑に運営するための管理を行った。

ア) 審査会開催等事務経費

イ) 基金原資の借入利息等の支払い等

(3) センター運営補完事業

センターが行う業務のうち、個別事業に分類されない部分を補完するために必要な事務を行った。

2 債権管理事業

小規模企業者等設備導入資金助成法及び高知県単独機械設備貸与制度要綱等に基づき、設備貸与を行った小規模企業者等に対する債権管理を行った。

また、ベンチャー企業総合支援事業で融資や投資などの支援を行ったベンチャー企業に対する債権管理等を行った。

3 法人会計

評議員会や理事会の開催のほか、県派遣職員やプロパー職員等の人物費の支払いなど、財団の運営・管理を行った。

V 庶務事項

(1) 理事会

開催日	回	議案・報告事項
6/12	1 (定例)	<p>議案</p> <p>第1号 令和4年度事業報告について</p> <p>第2号 令和4年度決算報告について</p> <p>第3号 ちばさんセンター及び中小企業会館の中長期保全計画の策定結果及び今後の取り組み（案）について</p> <p>第4号 令和5年度収支補正予算について</p> <p>第5号 公益財団法人高知県産業振興センター定期評議員会の招集について</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 理事長及び専務理事の職務の執行状況の報告</p>
6/28	1 (臨時) 書面	<p>議案</p> <p>第1号 令和5年度収支補正予算（第2回）について</p>
6/29	2 (臨時) 書面	<p>議案</p> <p>第1号 代表理事及び専務理事の選任について</p>
12/22	3 (臨時)	<p>議案</p> <p>第1号 令和5年度収支補正予算（第3回）について</p>
2/9	4 (臨時) 書面	<p>議案</p> <p>第1号 評議員会の開催について</p>
3/22	2 (定例)	<p>議案</p> <p>第1号 令和5年度収支補正予算について</p> <p>第2号 令和6年度事業計画について</p> <p>第3号 令和6年度収支予算について</p> <p>第4号 令和6年度資金調達及び設備投資の見込について</p> <p>第5号 公益財団法人高知県産業振興センター決裁規程の一部を改正する規程について</p> <p>第6号 公益財団法人高知県産業振興センター文書取扱い規程の一部を改正する規程について</p> <p>第7号 公益財団法人高知県産業振興センター就業規則の一部を改正する規則について</p> <p>第8号 公益財団法人高知県産業振興センター会計年度任用職員に関する就業規則の一部を改正する規則について</p> <p>第9号 公益財団法人高知県産業振興センター専門職員に関する</p>

		<p>就業規則の一部を改正する規程について 第 10 号 公益財団法人高知県産業振興センター利用規程の一部を 改正する規則について</p> <p>第 11 号 ちばさんセンター及び中小企業会館の中長期保全計画の 取り組み状況と今後の取り組み（案）について</p> <p>第 12 号 役員賠償責任保険契約の内容について</p> <p>第 13 号 公益財団法人高知県産業振興センター評議員会の招集に ついて</p> <p>報告事項 (1) 理事長及び専務理事の職務の執行状況の報告</p>
--	--	---

(2) 役員の異動

異動日	事 項
3/31	・岡利幸氏が監事を辞任

(3) 評議員会

開催日	回	議案・報告事項
6/29	1 (定時)	<p>議案 第 1 号 役員等の選任について</p> <p>報告事項 (1) 令和 4 年度事業報告について (2) 令和 4 年度決算報告について (3) ちばさんセンター及び中小企業会館の中長期保全計画の 策定結果及び今後の取り組みについて (4) 令和 5 年度収支補正予算について</p>
3/6	1 (臨時) 書面	<p>議案 第 1 号 評議員の選任について</p>
3/26	2 (定時)	<p>議案 第 1 号 公益財団法人高知県産業振興センター役員等の選任につい て</p> <p>報告事項 (1) 令和 5 年度収支補正予算について (2) 令和 6 年度事業計画について (3) 令和 6 年度収支予算について (4) 令和 6 年度資金調達及び設備投資の見込みについて (5) ちばさんセンター及び中小企業会館の中長期保全計画の</p>

		取り組みに状況と今後の取り組みについて (6) 役員賠償責任保険契約の内容について
--	--	--

令和5年度 役員・評議員名簿

(令和6年3月31日現在)

新詩與詩歌·東方·南北古詩合

新詩與詩歌·東方·南北古詩合

1 役員名簿

役名	氏名	所属役職名
理事長	栗山 典久	高知県理事
専務理事	池澤 博史	高知県商工労働部参事
理 事	谷脇 明	高知県商工会議所連合会専務理事
	中川 雅人	高知県商工会連合会専務理事
	森田 健嗣	高知県中小企業団体中央会理事・事務局長
	板原 啓文	高知県市長会副会長（土佐市長）
	小田 保行	高知県町村会副会長（越知町長）
	今西 剛也	高知市商工観光部長
	土居 秀臣	高知県商工労働部副部長（総括）
監 事	廣光 良昭	税理士
	岡 利幸	株式会社商工組合中央金庫高知支店長
	山本 耕三	高知県信用保証協会常務理事

2 評議員名簿

氏名	所属役職名
西山 彰一	高知県商工会議所連合会会頭
武田 秀義	高知県商工会連合会会长
久松 朋水	高知県中小企業団体中央会会长
山崎 道生	一般社団法人高知県工業会会长
森澤 正博	一般社団法人高知県製紙工業会理事長
久岡 隆	高知県農業協同組合中央会代表理事長
戸田 昭	高知県森林組合連合会代表理事長
澳本 健也	高知県漁業協同組合代表理事組合長
受田 浩之	国立大学法人高知大学理事・副学長
岩田 誠	高知県公立大学法人高知工科大学副学長
清原 泰治	高知県公立大学法人高知県立大学地域教育研究センター長
桑名 龍吾	高知県市長会会長（高知市長）
池田 三男	高知県町村会会长（津野町長）
弘瀬 優	高知市副市長
松村 和彦	一般財団法人高知県地産外商公社代表理事
沖本 健二	高知県産業振興推進部長
松岡 孝和	高知県商工労働部長

在這裏，我們將會遇到一個問題：如果我們希望在一個單元中，同時實現多個子系統的控制，那麼我們應該怎樣來組織代碼呢？

在前面的討論中，我們已經知道，一個子系統的控制，其實就是對該子系統的狀態變量進行讀寫。因此，我們可以將每個子系統的狀態變量，都存儲在一個單元的內部。這樣，我們就可以在單元的外部，直接訪問這些狀態變量了。

不過，這種方法存在一個問題：那就是，如果我們希望在一個單元中，同時實現多個子系統的控制，那麼我們就必須要為每個子系統，都分配一個獨立的狀態變量。這樣，我們的代碼就會變得非常複雜，並且難以維護。

爲了解決這個問題，我們可以考慮使用一個叫做「指標」（pointer）的機制。通過指標，我們可以在單元的外部，直接訪問單元內部的狀態變量。這樣，我們就可以在單元的外部，直接訪問每個子系統的狀態變量了。

在這裡，我們將會遇到一個問題：如果我們希望在一個單元中，同時實現多個子系統的控制，那麼我們應該怎樣來組織代碼呢？